



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月10日

上場会社名 株式会社フォーシーズホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3726 URL <http://www.4cs-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洲崎 智広
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 内野 紗希 (TEL) 092-720-5460
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績 (2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	939	△13.4	△167	—	△172	—	△199	—
2018年9月期第2四半期	1,085	△27.9	16	△56.7	11	△87.7	△19	—

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 △199百万円(—%) 2018年9月期第2四半期 △19百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	△29.17	—
2018年9月期第2四半期	△2.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	2,775	1,206	43.2
2018年9月期	3,170	1,434	45.1

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 1,200百万円 2018年9月期 1,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年9月期の配当予想につきましては未定です。

3. 2019年9月期の連結業績予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,250	0.1	△45	—	△57	—	△126	—	△18.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期2Q	6,973,470株	2018年9月期	6,973,470株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	192,770株	2018年9月期	106,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期2Q	6,824,533株	2018年9月期2Q	6,867,359株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向等に関する様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調の動きが続いております。一方、海外では米中貿易摩擦等による中国経済の不安定要素もあり、依然として景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、更なる成長に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高939,811千円（前年同四半期比13.39%減）となり、営業損失167,691千円（前年同四半期は営業利益16,420千円）、経常損失172,455千円（前年同四半期は経常利益11,455千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失199,046千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失19,483千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(コミュニケーション・セールス事業)

コミュニケーション・セールス事業におきましては、新たな顧客層の取り込みを図るためマスメディアを使った広告宣伝による先行投資を行っておりますが、依然として新規顧客の獲得に苦戦する状況が続いております。その他、Web・スマホ対応にも注力してまいりました。これにより売上高644,588千円（前年同四半期比17.2%減）、セグメント損失173,335千円（前年同四半期はセグメント利益8,288千円）となりました。今後はECを含めたマーケティングの強化に注力し、POPUPSHOPの実施など新たな施策にも取り組んでまいります。

(化粧品卸事業)

化粧品卸事業におきましては、前連結会計年度に行いました古くなった角質除去するための製品『ナチュラルアクアジェル』のパッケージリニューアルに伴う返品等により、売上高296,910千円（前年同四半期比3.3%減）となりました。しかしながら、依然市場では高い評価を受けており、昨年リリースした新商品も順調に売り上げを伸ばしております。今後はその認知を高めるために雑誌やSNSを使用した広告宣伝費の投下、今年2月に発売した時間をかけずにキレイを叶える新ブランド「JITANNO（ジタンノ）」の販売促進にも注力してまいります。以上のことからセグメント利益28,385千円（前年同四半期比55.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は2,775,013千円(前連結会計年度末3,170,416千円)、その内訳は流動資産2,220,585千円、固定資産554,427千円となり、前連結会計年度末に比べ395,403千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少328,684千円、売掛金の減少62,644千円、商品及び製品の増加63,123千円、のれんの減少23,258千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は1,568,611千円(前連結会計年度末1,735,590千円)、その内訳は流動負債842,886千円、固定負債725,725千円となり、前連結会計年度末に比べ166,979千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少19,718千円、返品調整引当金の減少21,328千円、株主優待引当金の減少34,250千円、長期借入金の減少71,474千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,206,401千円(前連結会計年度末1,434,825千円)となり、228,424千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失199,046千円の計上、自己株式の増加30,153千円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,363,943千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用された資金は、217,992千円(前年同四半期は73,047千円の獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失183,228千円、減価償却費29,589千円、のれん償却額23,258千円、株主優待引当金の減少34,250千円、売上債権の減少62,644千円、たな卸資産の増加73,114千円、法人税等の支払額又は還付額11,470千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用された資金は、5,618千円(前年同四半期は21,164千円の使用)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入2,400千円、無形固定資産の取得による支出7,851千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、102,686千円(前年同四半期は78,768千円の獲得)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出71,474千円、自己株式の取得による支出31,095千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2019年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,942,953	1,614,269
売掛金	178,729	116,084
商品及び製品	313,430	376,553
原材料及び貯蔵品	19,110	29,101
その他	38,271	84,579
貸倒引当金	△34	△2
流動資産合計	2,492,461	2,220,585
固定資産		
有形固定資産	33,121	28,834
無形固定資産		
のれん	118,216	94,958
顧客関連資産	334,500	317,346
その他	80,984	70,861
無形固定資産合計	533,700	483,165
投資その他の資産	111,133	42,427
固定資産合計	677,955	554,427
資産合計	3,170,416	2,775,013
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,570	54,320
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	142,948	142,948
未払法人税等	27,177	7,458
賞与引当金	9,000	5,860
返品調整引当金	24,063	2,735
株主優待引当金	41,699	7,449
その他	143,320	172,115
流動負債合計	889,779	842,886
固定負債		
長期借入金	727,862	656,388
資産除去債務	17,202	17,226
その他	100,747	52,110
固定負債合計	845,811	725,725
負債合計	1,735,590	1,568,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	348,117	348,807
利益剰余金	228,062	29,016
自己株式	△30,392	△60,546
株主資本合計	1,428,575	1,200,065
新株予約権	6,249	6,335
純資産合計	1,434,825	1,206,401
負債純資産合計	3,170,416	2,775,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,085,129	939,811
売上原価	253,991	219,355
売上総利益	831,137	720,455
返品調整引当金戻入額	825	24,063
返品調整引当金繰入額	673	2,735
差引売上総利益	831,289	741,783
販売費及び一般管理費	814,869	909,475
営業利益又は営業損失(△)	16,420	△167,691
営業外収益		
受取利息	1,990	23
受取賠償金	—	875
解約返戻金	—	1,122
その他	1,102	338
営業外収益合計	3,092	2,361
営業外費用		
支払利息	7,957	7,021
その他	100	103
営業外費用合計	8,057	7,124
経常利益又は経常損失(△)	11,455	△172,455
特別利益		
新株予約権戻入益	—	240
特別利益合計	—	240
特別損失		
減損損失	—	10,029
その他	—	983
特別損失合計	—	11,013
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	11,455	△183,228
法人税、住民税及び事業税	13,697	1,348
法人税等調整額	17,241	14,469
法人税等合計	30,939	15,818
四半期純損失(△)	△19,483	△199,046
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,483	△199,046

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純損失(△)	△19,483	△199,046
四半期包括利益	△19,483	△199,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,483	△199,046
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	11,455	△183,228
減価償却費	29,627	29,589
のれん償却額	23,258	23,258
減損損失	—	10,029
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△31
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,483	△3,140
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△152	△21,328
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△24,718	△34,250
受取利息及び受取配当金	△1,990	△23
支払利息	7,957	7,021
売上債権の増減額(△は増加)	29,959	62,644
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,837	△73,114
仕入債務の増減額(△は減少)	8,907	2,750
その他	△26,151	△19,503
小計	43,824	△199,326
利息及び配当金の受取額	18	11
利息の支払額	△7,918	△7,206
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	37,123	△11,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,047	△217,992
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	2,400
有形固定資産の取得による支出	△2,380	△791
無形固定資産の取得による支出	△20,526	△7,851
貸付金の回収による収入	3,000	—
敷金の差入による支出	△846	—
その他	△410	624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,164	△5,618
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△77,546	△71,474
自己株式の処分による収入	—	1,131
自己株式の取得による支出	—	△31,095
リース債務の返済による支出	△1,013	△1,045
その他	△209	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,768	△102,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△26,890	△326,297
現金及び現金同等物の期首残高	1,586,360	1,690,241
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,559,469	1,363,943

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コミュニケーション・セー ルス事業	化粧品 卸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	778,249	306,879	1,085,129	—	1,085,129
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	36	36	△36	—
計	778,249	306,915	1,085,165	△36	1,085,129
セグメント利益	8,288	63,733	72,022	△55,601	16,420

当第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コミュニケーション・セー ルス事業	化粧品 卸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	644,300	295,510	939,811	—	939,811
セグメント間の内部売上高又は振替高	288	1,399	1,687	△1,687	—
計	644,588	296,910	941,498	△1,687	939,811
セグメント利益又は損失(△)	△173,335	28,385	△144,949	△22,742	△167,691

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
報告セグメント計	72,022	△144,949
全社収益(注)1	126,000	150,000
全社費用(注)2	△122,720	△129,135
その他の調整額	△58,881	△43,606
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)	16,420	△167,691

(注) 1. 全社収益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及び受取配当金であります。

2. 全社費用は、当社における持株会社運営に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2017年10月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 2018年10月1日 至 2019年3月31日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

「コミュニケーション・セールス事業」セグメントにおいて、基幹システムの収益及び費用削減が見込めなくなったこと等により、ソフトウェアの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては10,029千円であります。